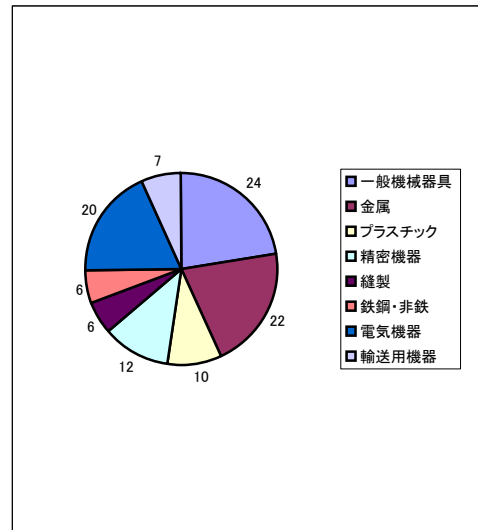


受注動向

- 調査時点 平成20年10月調査(20年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 回答企業 107社(回答率:71.3%)
(一般機器24社、金属22社、プラスチック10社、精密機器12社、縫製6社、鉄鋼・非鉄6社、電気機器20社、輸送用機器7社)
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

一般機械器具	24	23.5%
金属	22	21.6%
プラスチック	10	9.8%
精密機器	12	11.8%
縫製	6	5.9%
鉄鋼・非鉄	6	5.9%
電気機器	20	19.6%
輸送用機器	7	6.9%

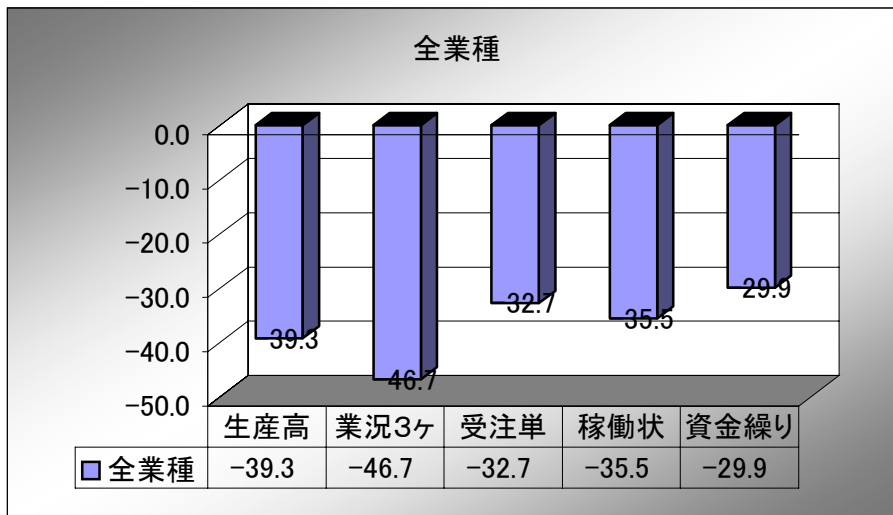


■ 全業種

生産高の対前年同月比は、▲39.3ポイント(前回▲20.2)と大幅な減産傾向で、稼働状況の対前年同月比は▲35.5ポイント(前回▲22.1)と大幅な悪化傾向である。

業況3ヶ月先見通しも、▲46.7ポイント(前回▲15.4)とさらに厳しい見通しで、受注単価の対前年同月比では、▲32.7ポイント(前回▲33.7)と横ばいの状況である。

資金繰りの対前年同月比でも、▲29.9ポイント(前回▲11.5)と大幅な悪化傾向である。



■ 生産高・稼働状況

生産高の対前年同月比は、「精密機器」▲16.7ポイント(前回33.3)、「プラスチック」▲70.0ポイント(前回▲10.0)、「輸送用機器」▲42.9(前回▲22.2)、「電気機器」▲60.0(前回39.1)と大幅な減産傾向である。「一般機械器具」▲25.0ポイント(同▲28.6)は横ばい傾向である。

稼働状況の対前年同月比は、「精密機器」0.0ポイント(前回44.4)、「プラスチック」▲50.0(同▲10.0)、「鉄鋼・非鉄」▲33.3(同▲16.7)、「電気機器」▲50.0ポイント(同▲34.3)と大幅な悪化傾向。「一般機械器具」▲33.3ポイント(同▲33.3)で横ばい傾向。一方、「輸送用機器」は14.3ポイント(同▲33.3)で大幅な回復傾向。

■ 受注単価・資金繰り

受注単価の対前年同月比は、「プラスチック」▲60.0ポイント(前回▲30.0)と大幅な悪化傾向。「鉄鋼・非鉄」16.7ポイント(前回33.3)と悪化傾向。「電気機器」▲43.5ポイント(前回▲43.5)、「精密機械」▲58.3ポイント(前回▲55.6)で横ばい。一方、「輸送機器」0.0(前回▲33.3)は大資金繰りの対前年同月比は「精密機器」▲8.3ポイント(前回11.1)、「プラスチック」▲60.0ポイント(前回▲20.0)、「輸送用機器」0.0ポイント(前回22.2)、「一般機械器具」▲25.0ポイント(前回▲4.8)は大幅な悪化傾向。「電気機器」▲30.0(▲26.1)は横ばい傾向である。

■ 3ヶ月先見通し

業況3ヶ月先見通しは「精密機器」▲33.3ポイント(前回11.1)、「電気機器」▲60.0ポイント(前回▲4.3)、「輸送用機器」▲14.3ポイント(前回11.1)、「金属」▲45.5ポイント(前回▲33.3)、「プラスチック」▲50.0ポイント(前回▲30.0)でいずれも大幅な悪化傾向。

